

## 市長のタウンミーティング 村木地区

(敬称略)

	<p>開催日時 平成29年10月23日(月) 19:00～21:10                  会場 村木公民館                  参加人数 54名</p> <p style="text-align: right;">開会挨拶 村木地区振興協議会長 谷林正昭                  書記 田中智子</p>
---	--

### 市政への提案、意見

番号	地区名	項目	内容
1	村木	教育環境	よつば小学校における通学路の安全対策について、下校時は、集団下校が難しいのではないかと考えている。市の責任のもとで防犯カメラの設置など通学路の安全の強化を。
2	村木	教育環境	よつば小学校では1クラス30人台と推定している。緊張と不安で学校生活をおくる児童もいると思われる。心のケア専門職の配置と学校内の教育環境づくりに取り組んでほしい。
3	村木	教育環境	村木小学校児童は、放課後や土曜日に村木公民館で勉強や、地域住民とのものづくりを通じて地域住民とのふれあいをすすめている。新年度から魚津市は放課後児童健全育成事業を検討されているが、村木小跡地施設において地域住民と児童とのふれあいができるようにしてほしい。郷土や文化の伝承にも取り組んでいただきたい。
4	村木	教育環境	村木小学校跡地に子育てサロンの整備、子育ての相談できるようにランチ会の開催、若者が住みたくなる村木になるよう、土日祝に利用できる施設を作ってほしい。
5	村木	まちづくり	海の駅蜃気楼周辺は、県内外から観光客がきているが、周辺地区は滞在型になっていないため、客が素通りしている状況である。観光客や釣り人たち民泊の提供、夕日が見えるレストランの誘致、魚津のうまい魚が食べられる宿を作ることはいか
6	村木	まちづくり	振興協議会としては、今年から中央通り商店街のハロウィンイベントを一緒に開催するが、将来的には大町地区と合同で開催していきたい。市の協力もお願いしたい。
7	村木	まちづくり	また、鴨川のきれいな水、鮭をアピールして店を誘致したい。
8	村木	まちづくり	富山市の環水公園のような公園が街の中にはない。つくることはできないか。
9	村木	まちづくり	空き家や空き店舗に人を呼び込むためにツアーを組むことはできないか。
10	村木	まちづくり	2年後に黒部が温泉施設を備えた道の駅をつくと聞いている。海の駅の収益が下がっている今どう対策をとるか、民泊をつくるというが、消防や保健所の指導が厳しい。法律の壁は高く、市長はどう思っているか。
11	村木	まちづくり	水族館の来場者が少なくなっている、改修や新設、埋没林館と一体型にする計画はないのか？

その他に3件のご意見あり

## 平成29年度 市長のタウンミーティング実施報告書

地区名	村木地区	日時	10月23日(月) 19時00分より 21時00分まで	参加者数	54名
会場名	村木公民館	司会	企画政策課 上田 哲也	書記	環境安全課 田中 智子
市側の出席者	市長 村椿 晃 企画総務部長 川岸 勇一 企画政策課長 赤坂 光俊 ほか		地区からの 主な参加者	地区振興協議会長、区長ほか	

### 1. あいさつ

地区振興協議会長 谷林正昭

### 2. 市長談話

市長 村椿 晃

魚津市の現状、「子育て」「教育環境」「まちづくり」について

- たてもんの森 文化の継承
- 人口について
  - ・住み良さランキング（東洋経済新報社）について
  - ・魚津市の現状・将来予想
- 子育て支援について
  - ・安心して産み育てる環境の整備
  - ・仕事と家庭の両立等
  - ・経済的負担の軽減
- 教育環境について
  - ・小学校英語教育の推進
  - ・教育用 I C T環境整備
  - ・通学の安全、安心対策
  - ・ふるさと教育
- まちづくりについて
  - ・中心市街地の活性化
  - ・定住、空き家対策 空き家の有効利用
  - ・道路、公園維持管理
- 災害に強いまちづくりについて  
(浸水対策、津波ハザードマップ)
  - ・ハード対策
  - ・情報伝達体制の強化
  - ・防災力の向上
- 健康寿命の延伸について
  - ・魚津市民の健康（がん死亡率等）

### 3. 意見交換（地区からの振興策等の提言・提案等について）

#### 〇通学路の安全対策の強化について（教育環境）

よつば小学校における通学路の安全対策については、関係機関で協議していると思うが、とくに下校時は、集団下校が難しいのではないかと考えている。市の責任のもとで防犯カメラの設置など通学路の安全の強化を。

（通学距離が長くなる、見守り隊の減少、どうやって安全を守るか？）

（村椿市長）

学校統合に併せて、どうやって通学路の安全を守るか考えています。統合に伴い通学路が物理的に変わることと、安全パトロール隊の人数の減少の二つが課題になっています。この環境のもと、どのように通学路の安全を守っていくのか、教育委員会のほかにも建設課、警察などとも話しています。先日開かれた防犯フォーラムで、防犯カメラにあわせて通学路のことも話題になっていました。魚津市通学安全推進会議において魚津市通学安全推進プランが策定されます。地域住民の高齢化にともない、見守り隊の人数が減っている現在、企業の協力をいただく仕組みを考えています。また、スクールバスにドライブレコーダーを設置し、事故の証拠に加え防犯カメラとして生かしていきます。あわせて子供たちの通学路に防犯カメラをつけることで警察とも話しています。集団下校について、学年によって終了する時間がばらばらであるため、なかなか難しいとのことあります。

一緒に子供たちと下校して、どこを歩いているのか、どこが危険かを皆で共通認識を持ち、対応していきたいと考えています。

#### 〇小学校統合に向けて（教育環境）

よつば小学校では1クラス30人台と推定している。緊張と不安で学校生活をおくる児童もいると思われる。心のケア専門職の配置と学校内の教育環境づくりに取り組んでほしい。

（村椿市長）

交流学习や、運動会の合同練習などを通して、新しい環境に慣れるよう対策をとっています。しっかり子供たちが雰囲気慣れることが大事であります。あわせて、どうしても不安から対応できない子供たちが出てくるのが考えられるのでスクールカウンセラーの設置を検討していきたいと考えています。

#### 〇地域住民とのふれあいを通じた教育環境づくり（教育環境）

村木小学校児童は、放課後や土曜日に村木公民館で勉強や、地域住民とのものづくりを通じて、地域住民とのふれあいをすすめている。新年度から、魚津市は放課後児童健全育

成事業を検討されているが、村木小跡地施設において地域住民と児童とのふれあいができるようにしてほしい。郷土や文化の伝承にも取り組んでいただきたい。

(村椿市長)

村木小学校が閉校になりますが、広い世代の人たちが交流できるような場をつくることは考えていきたいと思っています。意識してほしいのは、市だけではなく、地域住民の方の力を借りたいということです。ふるさと教育などでは、地域の皆さんの協力が必要。一緒にしくみを作っていきたいと思っています。

### ○子育てサロンの整備等について（子育て）

村木小学校跡地に子育てサロンの整備、子育ての相談できるようにランチ会の開催、若者が住みたくなる村木になるよう、土日祝に利用できる施設を作してほしい。

(村椿市長)

立派なことを考えるとハードルが高く実現しづらいと思います。一番大事なのは中身だと考えています。係る人づくりが大事です。仕組みについて考えていきたい。まずは一步踏み出すところから始めていきたい。規模を大きくするのはあとからでいいと思います。技能や経験を持っている方がたくさんいるので、その人たちの力を借りていきたいと思っています。

### ○海の駅蜃気楼・埋没林館周辺のにぎわいづくりについて（まちづくり）

海の駅蜃気楼周辺は、先日おこなわれた Sea 級グルメなどのイベントなどで、県内外から観光客がきているが、周辺地区は滞在型になっていないため、客が素通りしている状況である。観光客や釣り人たち民泊の提供、夕日が見えるレストランの誘致、魚津のうまい魚が食べられる宿を作ることはできないか。

(村椿市長)

たてもん祭りのときだけきて見てもらうだけでは体験とはいえません。例えばちょうちんをこの地域で作っていく勉強をしていくのはどうでしょうか？ちょうちんを地元で作れば観光資源になるのではないかと思います。

埋没林のカフェについては、カフェをつくるのが目的ではなく、いろんな年代のひとが自由に集まる場にしたいと思いで作るものであります。海辺の賑わいの拠点となるものはしっかりと市として作っていきますが、民間の方も少しの取組でいいので参加していただければ状況は必ずいい方に変わっていくと考えています。

漁協は、海洋大学などと連携して、どういう受入れ体制にすればよいかを検討しています。そういう動きとあわせていきたいと思っています。

### ○商店街の活性化（村木）（まちづくり）

振興協議会としては、今年から一緒にハロウィンイベントを開催しているが、将来的には大町地区と合同で開催していきたい。市の協力もお願いしたい。

また、鴨川のきれいな水、鮭をアピールして店を誘致したい。

富山市の環水公園のような公園が街の中にはない。つくることはできないか。

空き家や空き店舗に人を呼び込むためにツアーを組むことはできないか。

(村椿市長)

ハロウィンなど参加する人が楽しめるイベントであり、地域の特色あるイベントにし

ていきたいと思っています。地域と商店街と市と協力して一緒に考えていきたい。

鴨川について、川べりの昭和をイメージした居酒屋を誘致すれば面白いと思います。個性のあるエリアを作らなければなりません。地域のみなさんと方向性を決めていきたいと考えます。

カーバイド工場跡地の利活用については、この冬からカーバイドと話し合っ決めていきます。利用方法は難しいですが、例えば、土砂を入れ替えてきれいになっている場所がありますが、花火大会の観覧席を設けるなど、市民の人が入れるような場所にしないかという話をしています。具体的には進んでいませんが、いきなり大きな話はできないので、安心して利用できる事実を積み上げていくことを考えています。

空き家の利活用については、みなさんが本気であれば市もがんばります。としか言えません。地域住民たちがどうしていきたいかというのが大前提であります。リノベーションの取組を勉強していきたいと考えています。

### ○海の駅蜃気楼について（まちづくり）

Sea 級グルメ成功に終わるが、2年後に黒部が温泉施設を備えた道の駅をつくと聞いている。海の駅の収益が下がっている今どう対策をとるか、民泊をつくるというが、消防や保健所の指導が厳しい。法律の壁は高く、市長はどう思っているか。

(村椿市長)

制度上の制約はたしかにあります。段階的にクリアしていくことを考えていかないといけません。規制緩和の時代、どうしたら安全性が確保していけるか話をしていきます。

道の駅と海の駅は広域客を対象とした施設なので、地域の個性を持った施設を作れば、人は集まってくるので、その対策をしていくことを考えていきます。

### ○魚津水族館についてについて（まちづくり）

水族館の来場者が少なくなっている、改修や新設、埋没林館と一体型にする計画はないのか？

(村椿市長)

水族館はめずらしい魚を見に行くところではなく、人間が気持ちよく、おもしろくなる空間であります。魚は主人公ではないと水族館プロデューサーの中村元氏が言っています。空間をどう作っていくか考えるもので、たいそうなことを考えるのではないと思います。改装などといった具体的な計画は今のところはありません。

今年から国土交通省の官民連携事業の計画がはじまっています。民間の会社が協力する人を確保して、水族館の集客事業を検討していきます。2～3年はかかると思われませんが、新しい水族館の展開を考えていきたいと思っています。

### ○「たてもん祭りについて」について（まちづくり）

祭に行きたいけど、車を停める場所がない。シャトルバスが出ているというが、宣伝が足りないのではないか。通訳の人が外国人をたくさんつれていきたいとの話もある。なんとか車でお祭りへ参加できるように対策がとれないか。

(村椿市長)

駐車場の不足については、Sea 級グルメでも話題になりました。一度現地付近の駐車場まで行って、満車のため遠くの駐車場にまた移動しなければならないということがありました。駐車場不足はお客さんの不満がたまるので、きめこまかい案内、対策アナウンスを

していきたいと思います。

#### ○「映画 羊の木をPRしたい」(その他)

映画の撮影で村木がたくさん撮影されている、PRしていきたい。

(村椿市長)

試写会で観てきましたが、羊の木は社会的な内容になっています。少し暗く怖い。

魚津という場所がいい場所であるということをアピールする意味では、あまり使えないかもしれないが、魚津について興味は持ってもらえると思います。劇中の祭りが本当にあるのかなど、公開されたら話題になると思います。市内さまざまな場所で撮影されており、魚津の魅力のPRになるようしっかり活用していきたいと考えています。

#### ○「このとりプロジェクトについて」(子育て)

結婚できない人が増えていると話題になっている。

市役所内にこのとり課があると聞いたが、詳しく知らないので教えてほしい。

(村椿市長)

このとり課があるのではなく、このとりプロジェクトとして市役所でやっています。市役所が仲人役としてファッション講座などのイベントを企画しています。

市役所が婚活を企画することで、安心して利用できると好評であります。

追跡まではしていないが、近々結婚しそうなカップルはいます。何組が成功しているかは公表していません。